十九、三、廿 切抜

十九く 関西日報

罷業職工前野邸を襲撃

警官隊と大衝突

西長堀川字和島橋畔に入り亂れて爭鬪

多數負傷 暴行者續々檢擧

尼ケ崎伸銅所內伸銅工組合第十四支部は十八日大阪造船工組合に對し白米十俵を寄附し同組合の職工約五百名は阪神野田停留所にて受取り勞働歌を高唱し示威運動をなしつゝ船津橋に出で同所に於て約一千の集團を合して長堀に向ひたり

斯くと急報に接したる新町署にては萬一を慮つて長堀二丁目字和島橋北詰の藤永田造船所顧問前野芳造氏邸附近に約六十名の警官を配置して警戒中午後七時半頃に至つて內約五百名の一團は電車道を四ツ橋に出で右折して前野氏邸の前に於て

勞働歌

を高唱して引揚げ再び四ツ橋に引返し新町南通りを西へ宇和島橋通りにて本隊と合し其場に寄附の米を置きたる儘喚聲をあげつゝ又も前野氏邸に殺到して盛んに礫を投じたるが之より先新町署にては急を聞いて直に警察本部に報告する一方全市各署に

應援を

求め正服私服の警官隊は時を移さず現場に駈付け警戒に就くと同時に八時十分大木監察官が第七百號自動車にて同所に駈付けるや恰も再び前野氏邸を襲ひなる職工團はそれを見て自動車の行手を遮り會旗の旗竿を以て運轉手市原和三郎(二〇)の

横腹を

突きこれを合圖に盛んに瓦礫を前野氏邸に投付けるより警官隊は直に犯人の檢擧に着手し茲に端なくも警官隊と職工側と大爭鬪を初め新町署巡査久島久吉外十數名負傷者を出し中にも巡査落合貢藏は頗る重傷なり尚ほ職工側は岡本一郎(二三)池田政吉(二八)玉木光太郎(二〇)黑木爲次外十數名を檢擧し機械工組合第十二支部、造船組合第九、第十六支部の旗、仕込杖、棍棒、金棒等の兇器二十餘點を押收したるが職工側は斯くと見て蜘蛛の子を散らす如く四散し

其一隊

は西に向つて逃れたるより警官側は引續き犯人の檢擧に努めつゝあるが一方前野氏邸の被害は表窓硝子數枚を破壞されしのみにて幸に大したる被害はなし

遂に解散

西長堀より西に向つた百餘の一隊は三軒家旭倶樂部に集合し一杯傾け居れりとの事に大木監察官警官隊を率ゐて同所へ急行したるも既に解散の後向大正橋にも集合せりとの事で吉田警視の一隊は同方面を警戒中なり更に

田村芳太郎、根津明、太田米次、久保經一、佐多久義、島柄政、奥村治右衛門、一瀬政右衛門、川淵豐三郎

外二十餘名檢擧したるが尚午後五時には天下茶屋の鈴木藤永田造船課長の邸を襲ひたる一團あるも事なく無事散歸

住友電線休業

職工の怠業で莫大な損害を蒙る所から

日曜明の二十日から三日間

住友電線製造所實行委員阿部秀外八名は十八日午後二時本店に山下理事を訪ふたが斷然拒絶されて四時頃製造所に歸つて來た一方一般職工側では罷業基金にと各自の低

立會排斥して請求し現金を受取つた何男工より一圓兒女工より五十錢宛募集して實行委員の慰勞金に當てると云ふ一方會社は數日に亙つて怠業が持續される事は非常な損害を蒙る事になるので十八日夜職工全部に二十日以後三日間臨時休業をする旨を通達した